

「福島・宮城・岩手 復興マルシェ」
橘復興副大臣ぶら下がり記者会見録

(平成28年9月29日(木)1230～1233 於)新宿パークタワー)

質疑応答

(問) 順番にお店を回られましたが、ご感想はどうですか。

(答) 今このように段々立ち上がってこられて、商品を作られているのですが、やはり販路拡大というのは一つの大きなテーマです。そのためにはできるだけ多くの方に知ってもらって、やはり感じてもらわないといけないということで、そのため、今日のような東京ガスさんや東京商工会議所さんですけど、やはりこういう形で首都圏のかなり幅広い層の人に、こういった商品を見てもらうというのは、大きな効果があると思います。これを継続的に毎年この時期にやっていただいています。本当にありがたいなという思いです。実際こうやって拝見していても、昼休み中や、忙しい方でも、こうやって直に産物に触れてもらえるので、大変いい取り組みだと思います。

(問) 3年目のようですが。

(答) はい、3年目なんです。

(問) やはり、震災から5年半経って、地元の農家の方などはまだ風評被害をぬぐいきれないと、まだ販路を元通りにできないということがあるんですかね。

(答) やはり一度あちこちと取引していたものが、一回途絶えていますので、それを取り戻すということがあって、それは今まであったものを取り戻さないといけないけど、新たにまた開拓していくというのでしょうかね。それから今日見ていたら、新しい商品も、サバ缶でも味を変えたとか、かもめの玉子でも秋バージョンがあるとか、やはりそういう意味ではかなり商品開発も一生懸命されているなと感じました。

(問) お酒などもそうですかね。

(答) はい。地酒なども、新しいものでコンテストにチャレンジしたりもして、いいことですよね。

(以 上)